

2009年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試 (第二次日程) : 筆記試験 (教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章の空欄（A）～（C）にあてはまる語句を選んで、該当する解答欄に記号を書きなさい。

（A）は、ペスタロッチの影響を受けつつ、幼児の成長の理論を探究し、独自の幼児教育の方法を開発した。（A）は1840年、世界最初の幼稚園を開設した。また遊戯など幼児の社会性を育てるための方法や（B）と呼ばれる教育玩具の製作を試みた。

（C）は、幼児にとっての衛生的で安全な生活環境、および教具の充実による学習環境の整備の必要性を主張し、ローマに「子どもの家」を開設して幼児教育の実践を指導した。

ア. ヘルバルト	イ. エレン・ケイ	ウ. モンテッソーリ	エ. ヤーン
オ. パーカースト	カ. フレーベル	キ. シュタイナー	ク. フレネ
ケ. 直観教授	コ. 助教法	サ. 恩物	シ. オイリュトミー

問2. ①～④の語句に関する説明文として、誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

①昌平坂学問所＝江戸時代に武家の学校として最高の地位を占めていた学校で、昌平黉とも呼ばれた。その起源は林羅山が上野に設けた家塾にあり、将軍綱吉の時代に湯島に移し、ここを江戸幕府の教学の中心とした。後に幕府の直轄学校となった。

②開発教授＝伊沢修二、高嶺秀夫らがアメリカから帰国して広めた教授法で、従来の注入教授法を否定し、子どもの能力の開発を目的とした。これにより、明治10年代後半から20年代はじめにかけてヘルバルト主義教授法の本格的な導入がなされた。

③改正教育令＝1880（明治13）年に公布された教育に関する法規で、教育令に比べて学校設立や就学義務を厳しく規定した。これ以降、教育は府県の管理の下に置かれ、各府県は文部省の定めた基準に従った。

④1900年改正の小学校令＝この改正小学校令により、日本で初めて4年間の義務制が実現した。同時に小学校では授業料を徴収しないことを原則とした。1900年代初頭に日本の公教育制度が確立した。

問3. 戦後の教育に関する事項を時代順に並べたものとして正しいものを、①～⑤の中から1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

(a)義務教育費国庫負担法の公布 (b)「新日本建設ノ教育方針」 (c)社会科の授業開始
(d)新制高等学校の発足 (e)戦後の検定教科書の使用開始

①(b)→(a)→(c)→(e)→(d) ②(b)→(a)→(d)→(c)→(e) ③(b)→(c)→(e)→(d)→(a)
④(b)→(c)→(d)→(e)→(a) ⑤(b)→(d)→(c)→(a)→(e)

問4. 次の①～⑤は、大正期・昭和期の日本の教育に関する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①赤井米吉＝ドルトン・プラン ②国民学校＝皇国民の錬成
③生活綴方運動＝北方性教育 ④山本鼎＝臨画教育運動
⑤教学刷新＝『国体の本義』

問5. 以下は、教育法規に定める内容である。(①) ～ (⑤) に入る適切な語句(1語とは限らない)を解答欄に書きなさい。

- (1) 学校の設置者が学校を設置し、その経費を負担する原則は(①)といわれる。
(2) 教育課程の基準設定権は文部科学大臣にあり、編成権は(②)にある。
(3) 市(政令指定都市を除く)町村立義務教育諸学校の教員の任免権は(③)にあり、服務監督権は(④)にある。
(4) 教員の服務として校長の職務命令に従う義務は、公務員法において(⑤)といわれる。

問6. 次の文の()にあてはまる語、あるいは語の組を下記の語群から選んで、該当する解答欄に記号を書きなさい

- A. ブリッジスによると、感情の発達は生誕後の興奮状態から数週間たつと(①)が生じ、3ヶ月過ぎると(②)が生じ、その後さまざまな感情が分化していく。
ア. ①快の感情－②不快な感情 イ. ①不快な感情－②快の感情
- B. 読み書きの力は、就学前後の習い始めのころには個人差が大きい、ある程度学習すると差が小さくなっていく。これは、子どもたちが読み書きの()に気づくからだという。
ア. 競争的価値 イ. 心理的価値 ウ. 道具的価値 エ. 社会的価値
- C. ことばを獲得していく過程で、お母さんがお人形を指差して「ほら、お人形よ」と子どもに話しかけても子どもがお母さんの指先だけを見つめている場合、この子どもは()が獲得できていないことになる。
ア. 言語理解能力 イ. 三項関係 ウ. 二項関係 エ. 情緒応答性
- D. 学習の原理として、効果、練習、準備の三法則を主張し、学習の試行錯誤説を唱えたのは()である。
ア. ピアジェ イ. デュルケーム ウ. ソーンダイク エ. バンデューラ
- E. 母集団の分布型についてなんら特定の仮定をすることなく、母数の推定を行ったり統計的仮説検定を行ったりする方法の総称を()という。
ア. ノンパラメトリック法 イ. パラメトリック法 ウ. パラドックス法
エ. インパラドックス法

問7. 以下の（A）～（D）のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域（A）

- 形式陶冶と実質陶冶
- 脱学校論

領域（B）

- 「学制」
- アメリカ教育使節団（第1次）

領域（C）

- 指導要録
- 学校評議員制度

領域（D）

- 愛着行動
- コンピテンス